

◆ 平成30年度活動報告シート ◆

団体名：越谷アリタキ緑の会

21A-10

代表者：会長 茂櫛孝蔵

URL :

1. 活動が必要とされた状況

植物学者である故・有瀧龍雄氏が所有していた Aritaki Arboretum は、かつては国際的な植物園自然保護国際機構（BGCI）に登録されていた希少な樹木植物園です。2002年に市に遺贈され、8年間放置され登録も抹消されています。有志（埼玉県東部自然観察会主体）が集って跡地を整備し、2010年に『越谷アリタキ植物園』として開園しました。

同時に【越谷アリタキ緑の会】を発足、現在会員数は63名です。地域の環境教育・学習・情操教育の拠点として、広く広報活動を始め、魅力ある展示室・植物園づくりを目指しています。2020年には、開園10周年記念事業を計画しています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

ガイド班・樹木班・野草班・企画広報班の4つの会に分かれ、班毎に毎月1-2回定例会を開き活動。2018年の活動延べ人数は1,937名。毎水曜日の午前中は、有志全員で園内清掃を行い、毎日曜日にはガイド班による無料の園内ガイドを行っている。班長/副班長会議・全体会議を毎月1回開催し、市と協議しながら活動しています。



3. 活動の成果

- 越谷アリタキ植物園植生調査報告書（第4報）を発行
- 展示室の展示物・資料等を、季節に合わせて展示方法を工夫
- 小学校の課外授業活動を支援、3校延べ4回、子育て団体とのコラボ事業を3回実施
越谷にプレーパークをつくる会・ファミリーリンク越谷・越谷ボーイスカウト連盟
- 長年のアリタキ植物園の維持管理活動に対し、越谷市より感謝状・埼玉県より環境大賞奨励賞を授与される。

4. 今後に残された課題

- 越谷アリタキ植物園植生調査報告書（第5報）
アリタキ植物園図鑑（仮称）の監修作業を加速
- 市内小学校や子育て支援団体等と協働事業に邁進
- 魅力ある展示室・出前講座・広報活動を強化
- 植物園として地域の環境教育・情操教育の発信基地化

